

はえばる社協だより ちむぐくる

2025年
第283号
10月発行



社会福祉法人
発行/南風原町社会福祉協議会 編集/社協だより編集委員会
〒901-1104 南風原町字宮平 697 番地 10 ☎(098)889-3213 ☎(098)889-6269
☞ <https://www.haebaru-shakyo.org> ✉ info@haebaru-shakyo.org

南風原町 特産物
スターフルーツ

兼城あおぞら ゆんたくサロン

～人と人がつながる地域の居場所～



南風原町では「**住み慣れた地域で元気に暮らし続ける**」ために住民同士の支えあい活動や地域のつながり作りが行われています。ここでは、高齢者などの通いの場をはじめとする各地域の活動を紹介していきます。

今回は7月9日(水)にみつば児童クラブ(南風原小学校の近く)の場所をお借りして「兼城第7回あおぞらゆんたくサロン」を開催しました。「1人で家にいるのは寂しい」「ゆんたくしたい」という地域の声から始まったサロンも7回目の開催となり、楽しみにしている方も多くいらっしゃいます。

夏場の開催ということもあり、室内で涼しい環境の中「クーラーがあって最高だね～」と言いながら、皆さんゆんたくを楽しんでいました。参加された男性の方が「集まる人数は関係なくて、集まるということが大切なんだよ」と話されていました。人と会うことが心身共に健康に過ごせる秘訣なのかもしれません。

地域で集まれる場所があり、その場所に集まる人がいるということはとても素敵なことです。また、こうした活動ができるのは地域で支えてくれる方々の存在や場所があってこそです。これからも互いに支えあいながら安心して暮らしていける地域作りを一緒に取り組んでいければと思います。



今回ゆんたく会を開催するにあたり、快く場所を提供してくださったみつば児童クラブ様、ご協力ありがとうございました。



10代の ボランティア研修会

8月5日(火)、南風原町内在住の中学生・高校生を対象とした「10代のボランティア研修会」が開催されました。この研修会は「ボランティア体験活動を通して人と人との絆の大切さを肌で感じ、自らできることを探求してもらい、共に生きる福祉のまちづくりを推進する」ことを目的に開催し、9名の生徒が参加しました。



今回は、視覚障がい者に注目し、「共に生きる社会を創造していく視点を持つ」ことを学びました。

ブラインドサッカーチーム琉球Agachiの皆さんのご指導によりブラインドサッカー体験、サッカーチームの屋良景斗さん^{やらげいと}上地優美さん^{うえち ゆみ}の講話、合同会社KOKO同行援護事業所^{なかもと よいち}どこい^{なかもと まきこ}く代表社員兼管理者の中本与一さんの講話、中本牧子さんのご指導のもと同行援護の歩行体験を行いました。

参加した生徒から「自分と向き合い、自分を認めることの大切さを知った」「アイマスク体験を通して視覚障がいについて理解が深まった。生活のなかでお手伝いが必要な方に寄り添えるようにしたい」といった感想がありました。

地域や社会のさまざまな課題を「自分ごと」としてとらえ、主体的に関わっていく姿勢が育つことを目指してこれからも取り組みます。



Hello Hello
気づいたこと
○自分を認めたり、する事が大切
○声かけをした方が安心する
変化したと思う事
○視覚障害者に対する考え方が変化したと思う
○視覚障害者が、安心して行動できるよう、細い声かけができるように

感想
○人助けに対して自信が持てた
○当事者の目線で考えられた
○「当たり前」が難しい
○様々な工夫や心遣い、技術を知った
→活用して人助けしたい
○声や肌で感じることの安心感(大)
○ハンディキャップによる劣等感^{せうとうかん}を払拭したときの達成感^{たっせいかん}が自信につながるのでは?

気づき
○双方向のコミュニケーションが大切
○具体的/相手に寄り添った説明やコミュニケーション
○見知らぬ人とのコミュニケーションの大切さ
→声かけを求めることも難しい
○視覚に障がいがあっても「あはき」の資格がとれる
○伝え方の工夫(口頭/触れてわかる)



北欧生まれの モルック競技を楽しみました

障がい者スポレク
交流事業

誰もが参加できるスポーツやレクリエーションを通じて、障がいの有無に関わらず全ての人が共に楽しみ交流の輪を広げることを目的に、障がい者スポレク交流事業を8月9日(土)に開催し、身障福祉会、就労継続支援B型事業所、民生委員・児童委員、中学生・高校生、一般の方々総勢65人が集い、交流を楽しみました。

モルックは北欧フィンランド生まれのニュースポーツで木の棒12本(スキットル)に木の棒(モルック)をあてて得点を競います。ルールはいたって簡単ですが、50点を超えると25点まで減点されるなど、どの棒をどのように倒すのか頭を使う競技です。

沖縄県身体障害者福祉協会の職員2人(仲里さん、安里さん)が講師となりルールの説明や競技の進行を行っていただきました。

参加者からは「たくさん倒すことでできてとても楽しい」「グループで団結し勝てた。また、たくさんおしゃべりができた」などの感想が聞かれました。参加者がお互いの違いを理解し協力しあうことの大切さを体感し、終始笑顔と歓声で盛り上がった交流会となりました。



寄贈 南星中学校：フードドライブ



7月17日(木)、南星中学校のボランティア委員会のメンバー3名が本会を訪れ、フードドライブで集まった食料品を本会へ寄贈していただきました。

7月9日から11日の3日間、登校時にボランティア委員会が全生徒へ呼びかけを行い、各家庭で余っている缶詰やカップラーメン、調味料など多くの食料品が集まりました。

寄贈していただいた食料品は経済的に困っている世帯や定期的に見守りを行っている世帯の食料支援に活用させていただきます。

南星中学校ボランティア委員会の取り組みに深く感謝いたします。



赤い羽根共同募金

にご協力お願いします!

店頭募金の
お知らせ



ご協力を
よろしく
お願いします

サンエー津嘉山シティ(去年の様子)



イオン南風原店
(去年の様子)

毎年10月1日から12月31日の期間で実施している赤い羽根共同募金運動では、10月に町内の大規模商業施設において「店頭募金」を実施しています。

店頭募金は、募金配分を受けている障害者施設・小規模作業所の関係者をはじめ、町内の中高生ボランティアが積極的に参加して募金協力を呼び掛けるなど活動を行っています。

南風原町の福祉向上のために有効に活用される赤い羽根共同募金へのご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年10月の店頭募金運動(予定)

日時 10月5日(日) 14:00~17:00
10月12日(日) 14:00~17:00
10月19日(日) 14:00~17:00

日時 10月19日(日) 10:00~12:00
10月23日(木) 10:00~12:00

場所 サンエーつかざんシティ
イオン南風原店

場所 タウンプラザかねひで南風原市場



社会福祉法人南風原町社会福祉協議会

職員募集!



	職 種	給 与 等
①	ミニデイサービスレクワーカー(パート)	(時給)1,284円 ※通勤手当あり
業務内容 及び資格	ミニデイサービスのレク指導員及び進行/高齢者サロンの現場に合わせた時間(月60時間程度) 8:30~17:00(月~金) 土・日・祝日休み	
②	登録ヘルパー	(時給)1,300円~1,650円 ※活動費:1件について350円支給
業務内容 及び資格	身体介護や生活援助などの訪問介護サービス業務/週25時間以内で、利用者のニーズに合わせた勤務 ※週1日(1~2時間程度)から調整可能 ※資格:介護福祉士、実務者研修修了者、初任者研修修了者など(必須)	

~お問い合わせ~ 南風原町社会福祉協議会 TEL.(098)889-3213 (担当:赤嶺)

ご寄附ありがとうございました 令和7年8月1日~8月31日

新垣 ルミ子 様(字与那覇)	故夫・新垣 由雄 様の香典返しとして	50,000円
沖縄県農業協同組合南風原支店	支店長 仲里 誠 様 チャリティゴルフ大会収益金として	150,000円
匿名 様	生活困窮者の方々への支援として	10,000円
匿名 様	一般寄付	2,000円
チャリティ芸能公演実行委員会	実行委員長 與那嶺 俊和 様 第36回チャリティ芸能公演収益金として	367,500円
南風原町商工会	会長 金城 宏孝 様 チャリティゴルフ大会収益金として	100,000円



◀南風原町
商工会からの
寄附



▶沖縄県
農業協同組合
南風原支店 様
からの寄附



◀沖縄ヤクルト様
から袋麺の寄贈

ご寄附ありがとうございました 令和7年7月16日~8月15日

南星中学校 様	食品	沖縄ヤクルト 様	袋麺
壺やきいも専門店 くり太郎 様	焼き芋	大城 成美 様	食品
ADEMOK 様	パン	平良 栄子 様	バナナ
ライスセンターラック 様	米	大城 梓・結月 様	食品
町内ファミリーマート各店 様	食品	具志堅 萌子 様	食品
しょうなん店・新川店・津嘉山バイパス店・津嘉山みなみ店			

▶ライスセンター
ラック 様から
お米(5kg×10袋)
の寄贈



▶ファミリーマート各店様から
フードドライブの寄贈



▶大城梓様・結月様から
食品の寄贈

その他、個人の方から食料品・生活用品・野菜の寄贈がありました。ありがとうございます。

☎株式会社 うるま印刷

☎901-1111 南風原町字兼城577番地 ☎098-889-5813 ✉info@uruma-ink.co.jp 令和7年10月1日 はえばる社協だより 第283号(4)